

令和7年度 第3回川崎市社会教育委員会議 教育文化会館専門部会摘録

開催日時：令和7年12月16日(火)

13時30分～15時30分

開催場所：教育文化会館 第5会議室

出席者：＜委員＞山澤委員（部会長）、村社委員（副部会長）、安田委員、青木委員、野口委員、星委員

出席者：＜事務局＞小島館長、北村分館長、平井分館長、石渡担当係長、大久保係長
高橋主任（記録）

欠席者：＜委員＞新山委員、竹内委員

傍聴者：0名

1 開会

2 事務連絡

傍聴0名。過半数の出席があるため、本日の教育文化会館専門部会は成立。川崎市社会教育委員会議規則第6条第6項による。

3 館長あいさつ

4 部会長あいさつ

5 川崎市立労働会館改修工事等について（教育委員会事務局生涯学習推進課）

6 議事

（1）教育文化会館、大師分館、田島分館の社会教育振興事業について

大久保係長、北村分館長、平井分館長より各事業について説明。

・教育文化会館について

山澤部会長）「男性のための筋力アップ講座」の参加が多く好評で良いことである。

・大師分館について

安田委員）「平和ってなんだろう？」は教育文化会館の講座と同じテーマか。

北村分館長）3・4回目は在日コリアンについて取り上げていて異なる内容となっている。

安田委員)「Hot！するカフェだいし」参加は毎回同じ人が多いのか。

北村分館長) リピーターもいるが初めての人も多い。

・田島分館について

青木委員) プラザ田島まっりの古本市は、田島分館が所蔵している本を譲るのか。

平井分館長) 田島分館で所蔵している本で古くなり若干汚れがある等で除籍した本を1人10冊まで持ち帰ることができる。本のジャンルは幅広く、数百冊程提供している。とても人気で毎年行列ができる。

青木委員) 個人の不用となった本の持ち込みはできるのか。

平井分館長) 田島分館所蔵の本のみ提供している。持ち込みについては対応していない。

青木委員) 読まなくなったが他の人に読んで貰いたい場合もある。市民からの持ち込みの検討をお願いしたい。

山澤部会長) フリーマーケット的な事ができると嬉しいということか。是非検討をお願いしたい。

星委員) 海外の様々な料理を体験できるのは素晴らしい。日本の各地の郷土料理も体験できる講座もあるとさらに良い経験になるのではと考える。

村社委員) 2月にサークル連絡会が開催する教文まつりを開催するがその中で参加サークルが不用品を無償で譲るのは可能か。

小島館長) サークル連絡会が会場を確保して実施する場合は可能である。

- (2) 令和8年度教育文化会館・大師分館・田島分館市民自主学級・市民自主企画事業選考会について

大久保係長より説明

山澤部会長) 応募するだけでも意欲的であると考え。応募団体に対して建設的視点で審議したい。

- (3) 協議テーマについて

教育文化会館で実施する高齢者を対象とした事業の広報について小島館長から説明

山澤部会長) 村社委員の実施する社交ダンスの講座に参加した。良い雰囲気に参加者もとてもフレンドリーであった。雰囲気作りはリーダーによるところも多いと考える。また皆さんフレンドリーで社交的なので交友関係も広いと考えられる。その交友関係での広報も重要で大切ではないか。広報をグループのリーダーにお願いしメンバーに伝えて貰いメンバーはそれぞれの知り合いに伝えて貰う。このような網の目のように広げるような広報の手段もあるのではないかと考える。

村社委員) 病院に行く機会があり、度々会う人もいる。高齢者は病院に行く機

会が多いと思うので、病院にチラシを置かせてもらってはどうか。

安田委員） 今までこれほどたくさんの講座がある事を知らなかった。自分が情報を取りに行っていなかったのが分かった。現在サークル活動や講座も参加し楽しんでいるが、その情報を自分では気が付かず周りからの勧めで参加している。先程話があったように是非所属する会の中で情報を広めて欲しい。町内会の役員で町内会新聞を担当しているが今まで「教育文化会館だより」に気が付かなかった。目に止まりやすくするために講座等に参加した感想をいれてはどうか。「教育文化会館だより」をどう活かすか。やはり「楽しい」が参加につながるのではないか。

山澤部会長） 皆楽しい事には参加するので、「楽しい」は重要である。例えば「元気！健康カフェ」のチラシの裏に「参加して楽しかった」等の感想を入れると皆が楽しいと言っていると知り自分も参加しようかと思うのではないか。「楽しい」の伝え方も色々あると思うが、手段としてはSNS、チラシ、ホームページ、口コミなどが考えられる。楽しいか自分に有益な内容でないと参加しないと思うのでアピールする事は大切である。学ぶ楽しさをどう感じて貰えるか工夫が必要である。

野口委員） 口コミはとても大切で効果的だと考えている。またAIを活用して目を引くようなチラシの作成や、高齢者向の講座は高齢者関係施設に配架をお願いし、可能であれば利用者に配布ができればより効果的だと考える。庁内に配架するだけでなくもっと幅広く目に止まるようになればと思う。

山澤部会長） デイサービスを利用される方やその家族に渡せるとより効果的だと思われる。

星委員） 高齢者に対しても二次元バーコードがあれば家族がアクセスしてその内容を本人に紹介することもできる。講座に参加した後も定期的に講座情報が送られてくるような仕掛けや、横のつながりでの情報提供やチラシの置き場所も重要であると思った。大師支所の例になるが以前は暗く目立たない場所にあったチラシ置き場が椅子の横で直ぐ目の届く場所に置かれていて、改めて様々な講座があることを実感した。手に取りたいと思われるタイトルも重要である。「男性のための筋力アップ講座」は「男性の」表現がとても効果的である。「男性」と限定しているから参加しやすいと思われる。タイトルは大切である。安田委員は「男性の」の記載が無くても参加したか。

安田委員） 参加しなかった。

山澤部会長） キャッチは重要で「男性」が大きく目を引くのが良い。また置き場所も重要であると考え。図書館行ったとき新聞を持った高齢男性がずっとソファに座っていて、座る場所がなかった。これほど男性がいるなら講座に参加して欲しいと思う程大勢であった。例えば新聞置き場の近くにチラシを置くようにする等置き場にもきめ細やかな視点を持つのも大切だと感じる。

青木委員）町内会で回覧資料を仕分ける作業を行っているが、一番目立つのは黄色やピンクの色紙で文字が大きいのが目立つ。「教育文化会館だより」や「市政だより」は文字が小さいので目に留まりにくい。「元気！健康カフェ」は内容も気になり詳しく見たくなる。「HOT！するカフェだいし」は参加費をもっと目立たせると参加費 100 円は安いので目に止まるのではないかな。

山澤部会長）見る人の興味関心を引く部分を強調する。

青木委員）「教育文化会館だより」も様々な講座があるがそれを絞ってチラシにすると見やすいのではないかな。

山澤部会長）確かに内容が盛りだくさんで文字も細かく高齢者向きではないと思われる。例えば、登録したら情報が来る、あまり活動的でない人の家族に情報が届けられ、本人にその情報を紹介できるシステムを作れないかな。

青木委員）老人クラブにも届けてはどうか。

山澤部会長）老人クラブはどのくらいあるのか。

安田委員）川崎大師に 2 つある。

山澤部会長）これだけ広報して気が付かない事もあるので老人クラブに届けておしゃべりをする時に見て貰うのはどうか。会長・副会長さんにだけでも渡せると良い。商業施設は業務の関係で難しいかもしれないが、高齢者がよく行く店舗に置かせてもらうのも良いのではないかな。

村社委員）スマホ社会なのでボタン一つ押せば講座等の情報が得られると良いと考える。ただしセキュリティを考えると課題は多いと思われる。

小島館長）市役所もデジタル化にシフトしている。委員の皆様の周囲では例えば講座申込を二次元バーコードで行う、ネットで情報収集を行う等へ変化しているか状況を伺いたい。

山澤部会長）自分の俳句の会の中での話になるが、60 代の方はかなり使いこなしている。70 代は個人差があると思われるが半分程度。80 代は難しいようである。そのような講座の企画も必要ではないかな。二次元バーコードは全てのチラシに掲載しているか。

小島館長）募集の対象によって使い分けているが、二次元バーコードが入っているチラシは増えている。

山澤部会長）今まで出た意見をまとめる。

- ・サークルリーダーや会員に理解してもらい口コミで情報を広げて貰う。
- ・病院・高齢者施設・老人クラブ等へのチラシの配架。
- ・チラシ置き場を人の目につくような場所に設置する。
- ・チラシを作成するに際し、高齢者も目に止まるような大きさの文字で目立つような色（黄色やピンク等）の用紙を使用する。関心を引くようなタイトルを付け、参加して楽しかった等の感想や二次元バーコードを入れる。
- ・家族から講座情報の提供ができるようにメールマガジンのような登録制度を

検討。

以上、漏れがあるかもしれないので確認をお願いしたい。

小島館長）可能な限り取り組んでいきたい。次回は令和８年度に取り上げたいテーマについて協議したい。令和８年度は委員の改選の年に当たるため、次回の協議内容を参考資料として次年度に引き継ぎたい。

7 その他

第４回 令和８年２月１５日（日） １３時～ 会場：４階 第１・２会議室

※第４回は、市民自主学級・市民自主企画事業の選考会を兼ねている。

8 閉会